

HIV感染期間＞20年は多疾患および多剤併用の主な要因

アウトカムの有意な予測因子*	OR (95%CI)	P 値
多疾患罹患：		
- 男性 vs 女性 - HIV感染＞20年	2.06 (1.12-3.793) 2.31 (1.05-5.435)	0.02 0.044
多剤併用：		
- HIV感染期間＜10年 - HIV感染期間＞20年	1.99 (0.989-4.011) 2.36 (1.224-4.612)	0.05 0.01
2剤／単剤ARTレジメン：		
多剤併用	3.09 (1.328-7.502)	0.01

- 35.3%のHIV感染者が少ない剤数のARTレジメンを使用
 - 2剤併用療法：28.7%
 - 単剤療法：6.6%
- 56.4%のHIV感染者がNRTI-sparing レジメンを使用、59.3%がブースターを用いないレジメンを使用
- スタチンの処方率はHIV感染者の方がHIV非感染者よりも多い（47.6% vs 22.3%）、ベンゾジアゼピン系薬剤の処方率は少ない（3.5% vs 18.4%）

*多変量ロジスティック回帰